



コロナ禍からの立ち上がり支援

を最後に活動を終えます

第 22 回総会は再度延期

オミクロン株の感染急拡大で2月に予定した第22回総会を延期し、4月開催を準備していましたが、しかし、高齢者の死亡率が狙い撃ちされているみたいで高いので、さらに延期することにしました。総会開催をにらみながら、子どもたちや学校のコロナ禍からの立ち上りを応援するプログラムを準備して、現地再訪が可能になるのを待つことにします。私たちはこのプログラムでカンボジアの子どもたちへの支援活動を締めくくり、カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) は2022年度 (21年9月—22年8月) をもって活動を終えて解散したいと考えています。

フェイズアウト

KEAF の活動を終えて組織を解散することは、総会で会員や支援者の皆さんの承認を得て決めるべきことだと思います。しかし、困ったことにこの2年間、コロナまん延によって総会を開くことができないでいます。

KEAF は高齢者が主に同世代の友人たちの支援を得て活動を始めたボランティア・グループです。11年目に入った2019年度の第20回総会で、23年度 (2022・9—2023・8) までにフェイズアウト (段階的撤退) に向かうとの見通しを示していました。ちょうどそのタイミングに差し掛かったときにコロナ感染が始まりました。この事情をご理解ください。この間も KEAF の構造的高齢化はモ



ラトリウムなしに進行しています。

最後の2年余り、現地での支援活動が中断されたまま撤退せざるを得なくなったことは残念ですが、やむをえません。

奨学一時金

コロナまん延では社会的弱者ほど重い犠牲を強いられています。カンボジアでは貧しい農村の子どもたちです。コロナによって大勢の子どもが高校進学をあきらめたり、せっかく高校に進んだのに途中退学を余儀なくされたりしています。コロナ禍からの「立ち上がり支援」プログラムは、こうした生徒たちに進学、あるいは復学の助けになる奨学金を出そうというものです。(写真はプレイヴン州の学校風景)

KEAF は高校進学が経済的に難しい家庭の子どもたちに入学から卒業まで3年間の奨学金を給付してきました。しかしこの先、何年活動が続けるかわからなくなつては、複数年にまたがる奨学金の支給は約束できません。奨学生は高校だけで150人、少額ドル紙幣を1人ひとりの封筒に入れて用意し、確実に届けるのは、学校の先生や現地の協力者に頼むことはできません。一時金として給付することにしました。

KEAF は2年制の教員養成所学生にも奨学金を出してきました。この制度は最近4年制が併設されました。ここの学生にも奨学一時金を出すかは現地の事情を聴いたうえで決めます。

教材・学用品支援

活動を始めて4～5年は教科書を持っているのは先生だけ、科目によっては先生も持っていませんでした。プノンペンの印刷元に増刷を頼み、車に積み込んで配って歩くのが主な支援でした。今はノート、鉛筆・ボールペン、図書室用の副読本、辞書、教養書、地図・地理書、歴史書、理科実験用具、先生が使うチョーク、マジックペン、パソコン用インク・印刷用紙など。プノンペンで調達して配っています。

この2年は現地活動を助けてくれる日本語ガイド0・ソワンさんファミリーに、学校側の要望を聞き、調達、配達まで一切をお願いして支援が途切れないようにしました。最後に校長先生たちの要望をよく聞いて締めくくりたいと考えています。

ソワンさん一家に奨学金を

私たちのカンボジア現地での支援活動を支えてくれたのはソワンさん一家でした。支えるというよりは KEAF のプノンペン事務所といってもおかしくない存在でした。

ソワンさんはカンボジアの公認日本語ガイドの草分け。奥さんのソフィアットさん、従弟ワンタ

ーさん、義弟ナットさん、甥コウタローさんはそろってトップ大学、王立プノンペン大日本語学科卒という日本語べらべらの親日一家です。

ソワンさんの子どもさんは日本語名がつけられていて、香（かおり）さんと弟の金太郎君。香さんも同じ日本語学科進学が決まりました。新婚のナット夫人も日系企業で仕事をしている日本語使い。長男ピセットちゃんは満1歳を過ぎたばかりです。

金太郎君、ピセットちゃんが日本語を勉強するにせよしないにせよ、この2人と、さらに将来加わるであろうソワンさんファミリーの子どもさんのための奨学金を、感謝を込めて贈りたいと考えています（写真上：右が教材・学用品を届けたソワンさん、アンサー小学校で。写真下：右が子どもたちに囲まれるナットさん）。

たまった手持ち資金

この2年あまり細々とした支援を続けただけなのに、会員や支援者のみなさんにはこの間もいつもの年と同じように会費、奨学金

および一般支援のための拠金を継続していただきました。

このために大まかにいうと、いま手元には例年予算のほぼ2倍の資金がたまっています。これを最大限に生かす「最後の支援」に充てます。したがって、会費および活動支援金のお願いは2月末をもって終わりとしします（3～5頁に3月14日現在の2022年度収支報告などを掲載しました）。

===== (注) =====

振込用紙は同封していません

この会報102号には会費などの支援をお願いする振込用紙はもう同封していません。長年にわたるご支援、心よりのお礼を申し上げます

=====



財政報告

2022 年 3 月 14 現在

2022 年度（2021 年 9 月 1 日—2022 年 8 月 31 日）の活動にともなう財政状況について、2022 年 3 月 14 日現在の収支および繰越金残高を以下の通り（仮）報告します。例年は総会に報告してきましたが、2020 年度からコロナ禍によってその機会が奪われています。今年度は総会開催を 2 回にわたって延期、現在なお日程を決めかねていますので、とりあえずの報告です。

2020 年度／2021 年度収支決算報告

コロナ感染によって 2020 年度のカンボジア現地での支援活動の半分以上がストップ。この年の収支決算報告を 4 頁に（2020/12 会報 97 号掲載、再録）、現地活動がほとんどできなくなった 2021 年度の収支決算報告を 5 頁に掲載しました。合わせて参考にしてください。

カンボジア教育支援基金(KEAF-Japan)							
2022年度（2021年9月1日-2022年8月31日）（仮）							
2022年3月14日現在の収支および繰越金残高のお知らせ							
2021年8月31日繰越金残高				5,840,085（円）			
2022年3月14日までの収入				602,868			
2022年3月14日までの支出				626,076			
2022年3月14日現在の繰越金残高				5,816,877			
<詳細>（円）				2022/3/14 現在			
収入の部（2022/3/14 現在）				支出の部（2022/3/14 現在）			
科目	決算	予算	【注1】	科目	決算	予算	【注2】
一般支援活動	538,868			一般支援活動	626,076		
年会費	110,000			1教材支援	0		
寄付カンパ	428,867			辞書、本、文房具（現地要望）	0		
受取利息	1			2支援活動費	443,375		
				現地コーディネーター	443,375		
				3事務局運営費	182,701		
KEAF奨学金	64,000			KEAF奨学金	0		
収入合計	602,868			支出合計	626,076		
2022年度 活動増減表 (2022/3/14 現在)（円）				現金・預金残高（2022/3/14 現在）（円）			
	1一般支援活動	2KEAF奨学金	合計	小口現金	24,853		
前期繰越高	4,155,430	1,684,655	5,840,085	小口外貨	26,046		
当期収入	538,868	64,000	602,868	普通預金	131,437		
当期支出	626,076	0	626,076	郵便振替口座	5,634,541		
次期繰越高	4,068,222	1,748,655	5,816,877	合計	5,816,877		
【注1】 振込用紙（会費・カンパ）の会報への挿入は2022年3月をもって停止します。							
【注2】 2022年度支出については、奨学一時金、教材・学用品支援、ソワンさん一家への奨学金などを予定。							

カンボジア教育支援基金 (KEAF-JAPAN)

2020年度 収支決算報告書

(自2019年9月1日 至2020年8月31日)

2020/10/13

収 入 の 部 (円)				支 出 の 部 (円)			
科目	決算 (円)	予算 (円)	決算 > 予算	科目	決算 (円)	予算 (円)	決算 > 予算
一般支援活動	1,173,438	1,100,000	73,438	一般支援活動	785,966	1,207,000	(421,034)
年会費	230,000	350,000	(120,000)	1. 教材支援	83,856	207,000	(123,144)
寄付カンパ	943,438	750,000	193,438	辞書、本、文房具 (現地要望)			
				2. 支援活動費	350,723	650,000	(299,277)
				渡航費補助	120,000		
				現地コーディネーター 【注1】	227,993		
				(車、通訳、宿泊、食事他)			
				支援物資宅急便 (空港)	2,730		
				3. 事務局運営費	351,387	350,000	1,387
				会報 (年4回@700部)	310,485		
				KEAF Home Page管理	20,000		
				外国送金手数料	7,500		
				総会がき代・印刷代	9,552		
				ゆうちょ郵送通知費	3,850		
KEAF奨学金	236,000	300,000	(64,000)	KEAF奨学金【注2】	432,771	943,000	(510,229)
高校・教員養成	236,000	300,000	(64,000)	高校生 (141名×\$25×110.26)	388,667	805,000	(416,333)
				教員養成 (4名×\$100×110.26)	44,104	138,000	(93,896)
				大学生 (2019年度で終了)			
収入合計	1,409,438	1,400,000	9,438		1,218,737	2,150,000	(931,263)

190,701

2020年度 活動増減表

(2019年9月1日 至2020年8月31日)

円

	1一般支援活動	2KEAF奨学金	合計
前期繰越高	2,733,810	1,137,426	3,871,236
当期収入	1,173,438	236,000	1,409,438
当期支出	785,966	432,771	1,218,737
次期繰越高	3,121,282	940,655	4,061,937

繰越金増加額 190,701

現金・預金

2020/8/31現在

小口現金	4,118
小口外貨	26,131
普通預金	549,489
郵便振替口座	3,482,199
合計	4,061,937

【注】2020年度の決算概況

2020年度 (9/1/2019-8/31/2020) は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、カンボジアへの渡航が本来3回のところ1回しかかなわず決算に大きな影響を及ぼしました。KEAFの会計は現金主義を採用しており、実際の現金による入出金を収入および支出としております。その結果、2020年度の奨学金は一部未払いとなりました。(未収・未払金の内訳参照) 2. 支援活動費の内訳は、2019年11月の日本からの訪問費用および、当方の代理で8月に現地コーディネーターに現地状況確認依頼し発生した費用(\$1500送金)となっています。当年度の未収・未払金は翌期に精算することとしており、2021年度予算で繰り延べています。(2021年度予算参照)

2020年度未収入金・未払金の内訳

未収入金		未払金	
コーディネーター料・前払金	\$391.75	高校生奨学金 141名×\$25	\$3,525.00
残金		教員養成奨学金 8名×\$100	\$800.00
	\$391.75		\$4,325.00

2020年8月31日現在の財政状態並びに 同日をもって終了する2020年度の収支を活動計画に基づき監査した結果、適正である事を認めます。
(2020年11月3日)

監 事

山田 伸 代



カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan)

2021年度 収支決算報告書

(自2020年9月1日 至2021年8月31日)

(円)

収入の部				支出の部			
科目	決算 (円)	予算 (円)	決算 > 予算	科目	決算 (円)	予算 (円)	決算 > 予算
一般支援活動	1,412,759	1,100,000	(87,241)	一般支援活動	378,611	1,207,000	(828,389)
年会費	232,000	350,000	(118,000)	1教材支援	0	207,000	(207,000)
寄付カンパ	738,560	750,000	(11,440)	辞書、本、文房具 (現地要望)			
大口寄付者より	400,000			2支援活動費	40,000	650,000	(610,000)
受取利息	3			渡航費補助	40,000	280,000	(240,000)
雑収入【注①】	42,196			現地コーディネーター		360,000	(360,000)
				支援物資宅急便 (空港)		10,000	(10,000)
				3事務局運営費	338,611	350,000	(11,389)
				会報 (年4回@700部)	309,836	316,400	(6,564)
				KEAF Home Page管理	20,000	20,000	0
				総会はがき印刷代		9,600	(9,600)
				ゆうちょ郵送通知書	8,690	4,000	4,690
				為替差損	85		85
KEAF奨学金	744,000	1,300,000	(556,000)	KEAF奨学金	0	1,344,750	(1,344,750)
高校・教員養成	144,000	300,000	(156,000)	高校生2021年度 (146名 × \$25 × 110)		803,000	(803,000)
大口寄付者より	600,000	1,000,000		2020年度未払 (141名 × \$25 × 110) 【注②】		387,750	(387,750)
				教員養成2021年度 (6名 × \$100 × 110)		66,000	(66,000)
				2020年度未払 (8名 × \$100 × 110) 【注②】		88,000	(88,000)
収入の部 合計	2,156,759	2,400,000	(243,241)	支出の部 合計	378,611	2,551,750	(2,173,139)

2021年度収支(収入-支出) 1,778,148

2021年度 繰越金増減表

(2020年9月1日 至2021年8月31日) (円)

	1一般支援活動	2KEAF奨学金	合計
前期繰越高	3,121,282	940,655	4,061,937
当期収入	1,412,759	744,000	2,156,759
当期支出	(378,611)	0	(378,611)
次期繰越高	4,155,430	1,684,655	5,840,085

現金・預金残高

2021年8月31日現在 (円)

小口現金	24,563	
小口外貨: \$237	26,046	(@¥109.5/\$)
普通預金	386,272	
郵便振替口座	5,403,204	
合計	5,840,085	

【注】2021年度決算概況

当期2021年度 (9/1/2020-8/31/2021)は、日本およびカンボジアにおいて引き続き新型コロナ・パンデミック状況下にあり現地訪問は一度もできませんでした。このことは2021年度KEAF決算にも大きな影響を及ぼしました。KEAFの会計は現金主義を採用しており、現金による入金収入とし、出金を支出としています。その結果、当2021年度の奨学金は予算計上していたものの、例年通り訪問し対面面接で奨学金の対象者を特定することができず、それに基づき奨学金を支払うこともできませんでした。事実上、2021年度は奨学金の発生も、支払いもありません。なお、前期2020年度の奨学金は対象者が決まっておらず未払分について当2021年度で支払い予定でしたが実行できませんでした。2020年度の未収入金および未払金については下記のとおり処理しました。

【注①】 (収入の部) 前期2020年度の現地よりの未収入金(\$391.75)をコロナ見舞金、カンパによる雑収入として処理しました。

現地コーディネーターに対する過払金をコロナ見舞金とし、有志によるカンパを同額入金し雑収入 (¥42,196) としました。

【注②】 (支出の部) 前期2020年度奨学金未払 (高校生\$3,525, 教員養成\$800) の取り消し処理をしました。

前期2020年度の奨学金の半額は給付済で残りの半額は2021年度中に支払い予定でしたが、現地訪問ができず、また対象者の一部が (高校3年生) 卒業したことも相まって支払が不能となりました。これらの理由により前期奨学金未払金を今期で全額取消しました。

2021年8月31日現在の財政状態並びに 同日をもって終了する 2021年度の収支を活動に基づき
監査した結果、適正である事を認めます。

監 事

山田 伸代



2021年10月16日

ありがとうございました (2021 年 12 月 1 日～2022 年 2 月 28 日)

年会費、寄付金、奨学金を振り込みくださった方々に厚くお礼を申し上げます (敬称略させていただきます)

(千葉) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (大阪)
 (神奈川) (京都) (神奈川) (東京) (東京大崎)
 (神奈川) (神奈川) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)
 (大阪) (千葉) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (千葉)
 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)
 (神奈川) (東京) (福岡) (東京) (埼玉) (東京)
 (宮崎) (東京) (神奈川) (神奈川) (東京)

※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています。

カンボジア再訪はいつ？

カンボジア訪問ができるようになるのはいつか。まだ、はっきりした見通しが立ちません。プノンペン、のナットさんによると、カンボジア政府は経済活動再開を優先させていて、外国人の入国はワクチン接種証明を携帯すればOK、隔離もゆるくなっているようです。問題はむしろ日本側です。

日本政府はなお感染防止の「水際対策」を厳しくしています。このため海外からの留学生が延々と待機させられ、批判が出ています。もう一つは、プノンペンへの唯一の直行便である全日空便がいつ再開されるかです。

バンコクないしハノイ経由となると、乗り継ぎに4、5時間かかります。往路はまだいいのですが、帰路は深夜の空港で延々と待たされたうえ早朝の帰国という難儀に加えて、数日間の隔離となれば後期高齢者ばかり、それも80歳超が半分のKEAF事務局メンバーは怯まざるを得ません。

【カンボジア短信】

◇パンドラ文書にアンコール略奪文化財も

タックスヘイブン（租税回避地）に隠されていた企業や富裕者の内部文書を国際調査報道ジャーナリスト会議（ICIJ）が入手して公表したパンドラ文書。その中からアジアやアフリカなどの旧植民地の遺跡から略奪された文化財の記録が見つかり、アンコールワットなどカンボジア遺跡文化財の最大の収集家として知

られた故D・ラチェトフォード氏の名前も出てきた（2021年6月報道）。

最近のワシントン・ポスト紙（電子版）によると、ハイテク企業で財をなした米大富豪が個人的に所有している35体のうち少なくとも4体はアンコールワットのもので、ラチェトフォード氏から3,500万ドル（約40億円）で買い取ったという。同氏は米司法当局から訴追されたが、不法に入手したものではないと主張していた。2020年8月死去、遺族が手持ちの125体の返還を進めている（「カンボジア通信」98号2021・8参照）。

◇サッカーリーグ初代CEOに日本人

カンボジアのプロサッカー・リーグの初代CEOに元



慶応大学サッカー選手で商社勤務を経た斎藤聡さんが就いた（2021年12月の報道）。カンボジアのサッカー熱はますます高まっていきそうだ。KEAFは2011年から17年まで8回、公式指導員のコーチによる「サッカー教室」を開いて生徒にも先生にも大変喜ばれた。これも少なからず貢献したと思うと嬉しい（写真：KEAFサッカー教室）。

◇首相は世襲制へ？

カンボジアの与党・人民党は2021年12月の中央委員会で、フン・セン首相の長男フン・マネット陸軍司令官を将来の首相候補に全員一致で指名した。

フン・セン首相は在任37年近いが、あと10年は首相を続けるといっており、引き継ぐ時期は不明。